



阿蘇

再生目標

さまざまな主体の協働により、阿蘇の多様性の高い草原生態系が保全され、草原景観が維持されるとともに、それらが継続的に管理されるようにする

DATA

エリア：阿蘇くじゅう国立公園（阿蘇地域）
所在地：熊本県阿蘇郡南阿蘇村、小国町、南小国町、産山村、高森町、阿蘇市
着手：H15

阿蘇草原再生協議会

概要：阿蘇の草原の維持、保全および再生を推進するための必要事項を協議。

設立日：H17.12.2
構成員数：124
全体構想作成日：H19.3.7
実施計画作成日：未作成

(H19.3 現在)



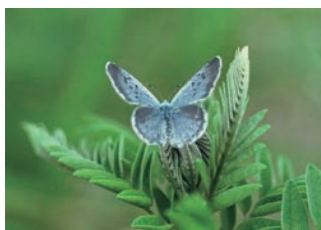
晩秋の風物詩の一つ草小積み



ハナシノブ（絶滅危惧 IA 類）



ツクシマツモト（絶滅危惧 IB 類）



オオルリシジミ（絶滅危惧 I 類）
（撮影：寺崎昭典）

関連ホームページ

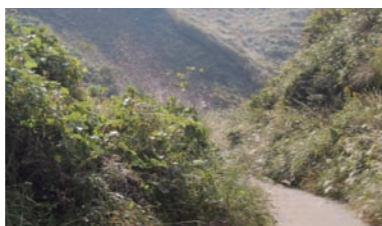
阿蘇自然再生事業：<http://www.aso-sougen.com>
阿蘇草原再生協議会：<http://www.aso-sougen.com/kyougikai/>



（撮影：大滝典雄）

阿蘇の草原は、東西約 18km、南北約 25km、周囲 100km 以上に及ぶ世界最大級のカルデラ地形の内外に広がっています。この草原は、もともと火山活動の影響により森林が発達しにくい環境であったところに、有史以来、人々が利用することによって成立したものであり、「採草」「放牧」「野焼き」など、人々が手を入れることにより維持され、これにより広大な草原景観と多様な動植物が生息・生育する豊かな草原環境が守られてきました。

しかし、農業形態や生活様式の変化、近年の畜産業の低迷や担い手の高齢化、後継者不足などによって、草原維持のための一連の作業を行うことが困難になりつつあります。その結果、草原面積の減少や荒廃が目立つようになり、景観や草原生態系における生物多様性の劣化が生じているのが現状です。このため、長い間草原環境を再生し、次世代へ引き継いでいくための取組みを進めています。

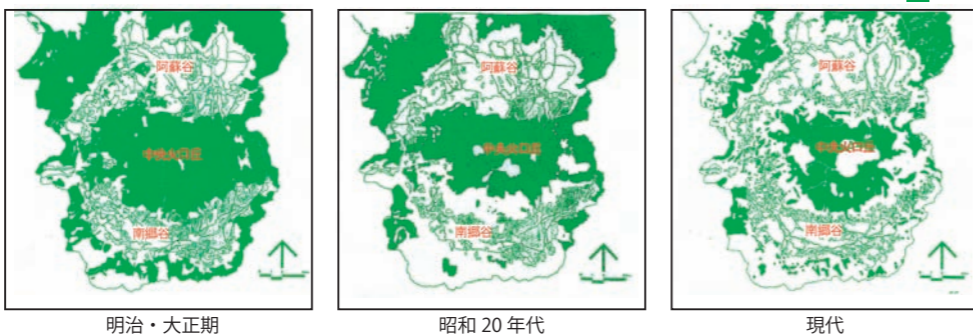


野焼き作業の休止により低木林化しつつある草原



高齢化等により困難になっている輪地切り等の維持管理作業

阿蘇の草原面積の変遷



明治・大正期

昭和 20 年代

現代

■ 原野

自然再生の手法

- ▶ 草原維持管理作業の支援→①②
- ▶ 放置された草原の管理作業の再開→②
- ▶ 損傷・劣化が進んでいる草原環境の修復→③

地域の生業とともに維持されてきた二次的自然である阿蘇の草原を保全・再生していくためには、地元牧野組合等が中心となり行ってきた牧野利用や維持管理作業が継続されていくことが重要です。そのため、野焼き・輪地切りの作業負担軽減のための環境を整備し、ボランティアやNPO等との協働による維持管理の再開に向けた支援を行い、また管理が行き届かず劣化が進む草原環境を修復するなど、生物多様性を回復するための取組みを行っています。



秋の採草

（撮影：大滝典雄）



春の野焼き

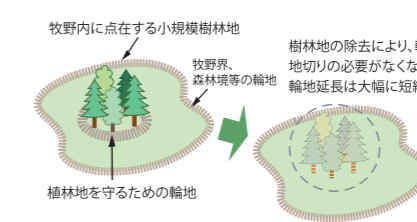


国立公園区域
牧野組合が管理している草原

0 5 10 (km)

① 輪地切り（野焼きのための防火帯づくり）省力化のための環境整備

採草・放牧利用の減少とともに草原内での植林が進み、輪地切りの負担が増大したことにより、野焼きの継続が困難な牧野が増えています。野草地保全のために不可欠な野焼きの継続を支援するため、牛の採食行動を活用したモーモータンクローラや、牧野内の小規模点在樹林の除去による輪地延長の短縮など、輪地切り作業の省力化に係る手法の検討・普及を行っています。



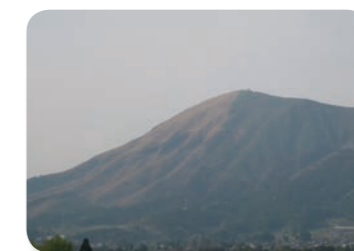
小規模点在樹林の除去



モーモータンクローラ

② ボランティア団体の支援による野焼き再開

野焼きが中止された草原はヤブ化が進み、景観や生物多様性の劣化に加え、災害の危険性の面からも問題視されています。管理が放棄されている草原において良好な野草地を再生するため、地元住民と支援ボランティア団体との協働による輪地切り・野焼き作業の再開を進めています。また、この実施にあたっては、野焼き再開後の維持管理の継続について関係者間で協定書を交わしています。



野焼き再開整備前



野焼き再開整備後

③ 草原内の湿地および周辺林環境整備

草原内に点在する小規模な湿地は、生物多様性の高い場所です。しかし、農畜産利用の減少や周辺への植林の進行などにより環境の劣化が進んでいます。こうした湿地帯を対象として、湿地性動植物が生息・生育できる本来の環境を取り戻すため、植林後の手入れ不足で密生・高木化したスギの伐採により光環境の改善を図るとともに、伐採木を用いた土留柵による湿地への土砂流入防止対策を実施しています。



植林木除去後の湿地周辺



伐採木を利用した土留柵